18－02－500　工事用道路除雪（SQ1802）

1　工事用道路除雪

表2.4　工事用道路除雪歩掛　（１km当たり）

名　　称	規　格	単 位	除　雪　延　長	除　雪　深	
				10cm以上～30cm未満	30cm以上～60cm以下
ホイールローダ運転	排出ガス対策型(2011年規制)山積み1.3～1.4m3(ﾊﾞｹｯﾄ)	日	１．５km未満	1.34	1.52
			１．５km以上３．０km以下	0.42	0.82

備考１　工事用道路の除雪に適用し、現場の作業場等の除雪には適用しない。

２　除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。

３　除雪深が範囲を超えている場合は、補正係数（積雪深補正）をかけて積算する。（例１・２参照）

４　上表の延長条件は、１回に行う除雪延長であり、同じ箇所を１日２回行う等により総除雪延長が適用範囲外となる場合でも、１回の除雪延長が上表以内であれば適用範囲内とする。

５　１回の除雪延長が適用範囲を超えている場合はセット数（作業班数）を増やす。（例３参照）

例１）対象除雪深が70cmの場合（除雪延長１．５km以上３．０km以下）

10cm以上～30cm未満と30cm以上～60cm以下の歩掛から、30cm積雪深が増えるごとにホイールローダの作業は0.40日増となっている。

｛0.82日＋0.40日×（70－60）÷30｝÷0.82日＝1.16……補正係数

10cm以上　30cm未満	30cm以上　60cm以下	差
0.42	0.82	0.40

30cm以上60cm以下の歩掛（0.82日）に補正係数（1.16）を乗じ、（0.95日/km）とする。

例２）対象除雪深が２０cmの場合（除雪延長１．５km）

1.34日/km

例３）対象除雪深が40cm、除雪延長４kmの場合

延長が適用範囲を超えているため２セットとする。

１セット目（1.52日×1.50km＋0.82日×1.50km）＋２セット目（1.52日×1km）

＝5.03日/4km（1.2575≒1.26日/km）とする。

※補正係数及び補正後の歩掛値（運転日数）は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入する。

2　機械運転単価表

(1)工事用道路除雪

名　　称	規　　格	指　定　事　項	適用機械工歩掛
ホイールローダ運転	排出ガス対策型(2011年規制) 山積み1.3～1.4m3(バケット)	運転労務数量→1.00 燃料消費量→44 機械賃料数量→4.73	02-18-010

18－02－600　仮囲い屋根部除雪（SQ1803）

~~防雪~~仮囲い屋根部~~が50~~に5cm以上の積雪~~取り除きは~~があった場合を対象とし、次表を標準とする。除雪工は必要な場合計上する。

表2.5　仮囲い屋根部除雪歩掛

（10m3当たり）

名　　称	単　位	Ｐタイプ、Ｗタイプ、ＰＷタイプ	
		屋根部の積雪深	
		5cm 以上30cm 以下	30cm を超える
普 通 作 業 員	人	0.35	0.41

備考　除雪量（m3）　Ｖ＝Ａ×Ｈ

Ａ：除雪対象面積（屋根面積）（m2）

Ｈ：積雪深（m）

18－03　雪寒仮囲い工

18－03－100　一般的事項

1　適用範囲

1）本歩掛は、冬期における土木構造物の施工において、平均設置高~~30~~15m以下の雪寒仮囲いを設置する工事に適用する。~~なお、Ｐタイプで設置高4m以上となる場合、及び小型構造物（コンクリート工の分類に準ずる）には適用しない。~~

（ア）適用できる範囲

①屋根梁、屋根受け梁部材として、単管パイプ・既製ビーム・Ｉ形鋼・Ｈ形鋼等の仮設材を使用する場合

（イ）適用できない範囲

①雪寒仮囲いの屋根部材にパネル式のシステム上屋を使用する場合

②Ｐタイプで設置高４ｍを超える場合、及び小型構造物の場合

2）小型構造物の雪寒仮囲い費は、18－05の小型構造物防寒養生工を適用する。

3）コンクリート打設用立体足場は、雪寒仮囲い工にて計上することとする。ただし、コンクリート打設用立体足場として兼用できない場合は、別途考慮する。

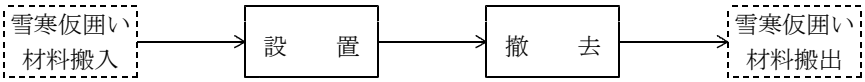
4）枠組足場の足場幅は、1.2mを標準とする。

5）囲い高の算定にあたっての余裕高は、1.8mを標準として算出する。

6）囲い屋根部の勾配は、10%を標準とする。ただし、囲い幅が広い場合はその限りではない。

2　施工概要

標準施工フローは、下記のとおりとする。



備考　本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3　雪寒仮囲いタイプ及び機種の選定

3－1　雪寒仮囲いタイプの選定

雪寒仮囲いタイプの選定は、次図による。

図3.1　雪寒仮囲い選定フロー

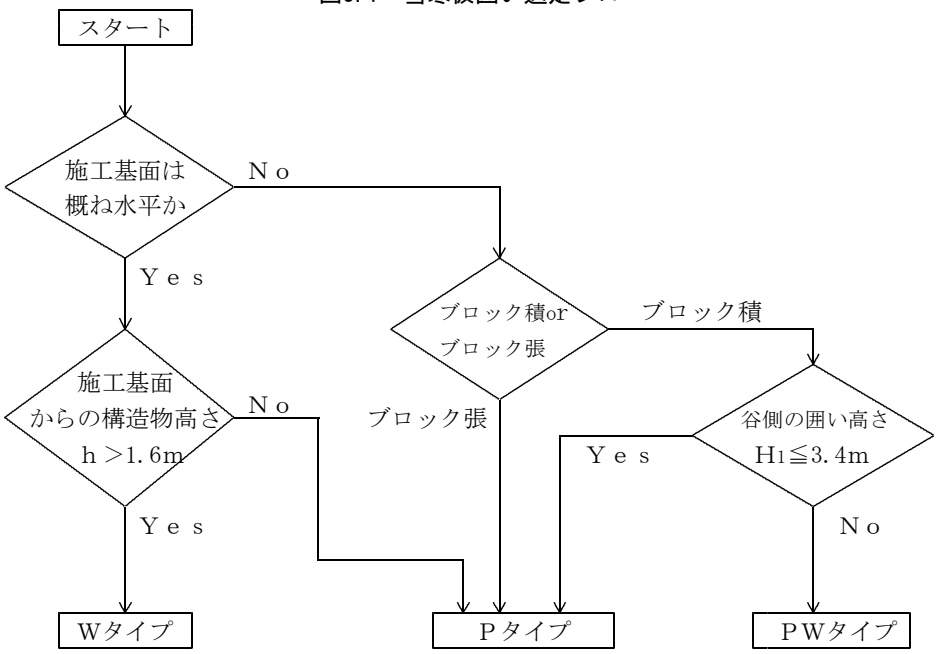


表3.1　タイプ別使用資材

	囲　枠　部　材	屋根梁・屋根受け梁部等
Ｐタイプ	パイプサポート＋シート	単管パイプ・既製ビーム・Ｉ形鋼・H形鋼等
Wタイプ	枠組足場（単管足場、単管傾斜足場）＋シート	単管パイプ・既製ビーム・Ｉ形鋼・H形鋼等
PWタイプ	枠組足場＋パイプサポート＋シート	単管パイプ・既製ビーム・H形鋼等

３－２　機種の選定

仮設材の持ち上げ（下げ）機械は、次表を標準とする。

表3.2　機種の選定

タイプ	持上げ（下げ）機械	規　格
Ｐタイプ	バックホウ	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）山積／平積み0.8／0.6m3吊能力2.9t
W/ＰWタイプ	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（2014年規制）25ｔ吊

備考　バックホウ、ラフテレーンクレーンは賃料とする。

４　施工歩掛

18－03－200　設置・撤去歩掛

Ｐタイプ、Wタイプ、ＰWタイプに関わらず、屋根部の短辺（水平長）が12mを超える場合は、見積により積算することとする。見積にあたっては、施工条件（コンクリートをクレーン打設する場合は、屋根を開閉できる必要があること等）を考慮の上行うこと。また、雪寒仮囲いの構造計算にも注意すること。

18－03－210　Ｐタイプの設置・撤去歩掛（SQ1804）

Ｐタイプの雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表とする。

表3.3　Ｐタイプの雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛

（100m2当たり）

名　称	単　位	数　量	摘　要
世話役	人	~~1.1~~1.2	
普通作業員	〃	~~4.7~~5.0	
バックホウ	日	0.6	
~~諸雑費率~~	~~%~~	~~22~~	

備考１ ~~諸雑費は、仮囲い仮設材の費用であり、労務費と機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。~~

~~2~~　仮囲いの面積算出にあたっては、「18－06　雪寒仮囲い工数量算出基準」を参照のこと。

18－03－220　Ｗ・ＰWタイプの設置・撤去歩掛（SQ1805）

Ｗ・ＰWタイプの雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表とする。

(1) 枠組足場

表3.4　Ｗ・ＰWタイプの雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛（枠組足場）

（100m2当たり）

名　称	単　位	枠組足場部（S_1）	枠組足場以外（S_2）
世話役	人	2.2	~~1.1~~1.2
とび工	〃	~~9.6~~10.1	4.5
普通作業員	〃	~~6.7~~7.5	~~2.5~~2.8
ラフテレーンクレーン	日	0.2	0.2
~~諸雑費率~~	~~%~~	~~26~~	~~14~~

備考１　仮囲い用の足場幅は、1.2mを標準とする。

~~2　諸雑費は、仮囲い仮設材等の費用であり、労務費と機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。~~

~~3~~ 2　「枠組足場部」は構造物天端の高さまでであり、「枠組足場以外」は構造物天端以上の屋根部分とする。（18－06　雪寒仮囲い工数量算出基準を参照）

~~4~~3　上記歩掛は、足場を兼用した仮囲いの設置・撤去歩掛であり、兼用できない場合の足場は別途必要数量を計上する。

~~5~~4　枠組足場は手すり先行型枠組足場とする。

(2) 単管足場

表3.5　W・PWタイプの雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛（単管足場）

（100m2当たり）

名　　称	単　位	単管足場部	単管足場以外
世　話　役	人	1.9	~~1.1~~1.2
と　び　工	〃	~~5.4~~8.4	4.5
普通作業員	〃	~~5.3~~1.8	~~2.5~~2.8
ラフテレーンクレーン	日	0.8	0.2
~~諸雑費率~~	~~%~~	~~17~~	~~14~~

備考　18－03－220(1)の備考と同じ。

(3) 単管傾斜足場

表3.6　W・PWタイプの雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛（単管傾斜足場）

（100m2当たり）

名　　称	単　位	単管傾斜足場部	単管傾斜足場以外
世　話　役	人	1.5	~~1.1~~1.2
と　び　工	〃	~~9.7~~6.1	4.5
普通作業員	〃	~~9.1~~2.7	~~2.5~~2.8
ラフテレーンクレーン	日	0.8	0.2
~~諸雑費率~~	~~%~~	~~15~~	~~14~~

備考　18－03－220(1)の備考と同じ。

18－03－230　雪寒仮囲い仮設材の費用（SQ1812）

雪寒仮囲いの仮囲い仮設材費用の積算は、次式による。仮設材費用には清掃等の簡易な整備作業を含む。

雪寒仮囲い仮設材の費用＝（L1＋L2X）×A（円）

L1, L2　：賃料係数（表3.7）

X　：仮設材供用月数（月）

A　：仮囲いの面積（m2）

表3.7 雪寒仮囲い仮設材の各賃料係数

（1㎡当たり）

雪寒仮囲いのタイプ	L1	L2
Pタイプ	157	145
Wタイプ（枠組足場部(S1)）	449	318
PWタイプ（枠組足場部(S1)）	449	318
Wタイプ（枠組足場以外(S2)）	137	206
PWタイプ(枠組足場以外(S2))	137	206

※２０２０～２０２４年度のデータへ更新

２　除雪数値表

空知総合振興局　　（ｃｍ）

市町村名	除雪区分	１１月 (回数)降雪深	１２月 (回数)降雪深	１月 (回数)降雪深	２月 (回数)降雪深	３月 (回数)降雪深
夕張市	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（１）　６	（５）　７	（５）　７	（６）　７	（３）　６
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（２）２０	（８）２０	（６）２０	（７）２０	（２）１０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（－）　－	（１）４０	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	４０	８０	１１０	９０
岩見沢市	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（２）　７	（５）　７	（５）　６	（５）　６	（３）　７
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（１）１０	（９）２０	（７）２０	（６）１０	（１）２０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（２）４０	（－）　－	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	５０	１１０	１２０	８０
美唄市	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（１）　６	（６）　７	（７）　７	（６）　７	（２）　６
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（２）２０	（１１）２０	（６）１０	（５）２０	（１）１０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（１）３０	（－）　－	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	５０	９０	１１０	７０
芦別市	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（１）　７	（９）　７	（６）　７	（５）　７	（３）　７
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（２）２０	（７）１０	（４）２０	（４）１０	（１）２０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（－）　－	（－）　－	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	２０	６０	７０	５０
赤平市	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（１）　６	（７）　７	（６）　７	（６）　７	（４）　７
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（２）２０	（８）１０	（５）２０	（５）１０	（２）１０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（－）　－	（１）４０	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	３０	７０	９０	６０
三笠市	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（１）　７	（６）　７	（６）　７	（６）　７	（３）　７
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（２）２０	（９）２０	（６）２０	（６）２０	（１）２０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（１）４０	（－）　－	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	４０	９０	１００	７０
滝川市	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（１）　６	（６）　７	（６）　６	（６）　７	（３）　７
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（２）２０	（１０）１０	（５）２０	（４）１０	（２）１０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（－）　－	（１）４０	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	４０	８０	１００	７０
砂川市	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（１）　６	（６）　７	（６）　６	（６）　７	（３）　７
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（２）２０	（１０）１０	（５）２０	（４）１０	（２）１０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（－）　－	（１）４０	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	４０	８０	１００	７０
歌志内市	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（１）　７	（９）　７	（６）　７	（５）　７	（３）　７
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（２）２０	（７）１０	（４）２０	（４）１０	（１）２０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（－）　－	（－）　－	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	２０	６０	７０	５０
深川市	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（１）　６	（７）　７	（６）　７	（６）　７	（５）　６
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（２）１０	（７）２０	（７）１０	（６）１０	（２）１０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（１）４０	（１）４０	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	３０	８０	１００	７０
南幌町	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（２）　７	（５）　７	（５）　６	（５）　６	（３）　７
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（１）１０	（９）２０	（７）２０	（６）１０	（１）２０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（２）４０	（－）　－	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	５０	１１０	１２０	８０
奈井江町	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（１）　７	（８）　７	（７）　７	（６）　７	（３）　７
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（２）２０	（９）２０	（５）２０	（５）２０	（１）２０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（１）３０	（－）　－	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	４０	８０	９０	６０
上砂川町	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（１）　７	（９）　７	（６）　７	（５）　７	（３）　７
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（２）２０	（７）１０	（４）２０	（４）１０	（１）２０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（－）　－	（－）　－	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	２０	６０	７０	５０
由仁町	５ｃｍ以上１０ｃｍ未満	（１）　６	（３）　７	（４）　７	（５）　７	（２）　６
	１０ｃｍ以上３０ｃｍ未満	（１）１０	（３）１０	（４）２０	（３）２０	（１）１０
	３０ｃｍ以上	（－）　－	（－）　－	（－）　－	（－）　－	（－）　－
	着工時除雪	－	１０	４０	６０	５０

以降、冬期施工-53まで同様の改定のため割愛します。

③　路体（築堤）盛土

積算条件		適用可否		備考
施工幅員	施工数量	山地治山土工に該当しない場合	山地治山土工に該当する場合	
2.5m 未満	－	○	×	
2.5m 以上　4.0m 未満	－	○※	×	※林道工事：×
4.0m 以上	~~10,000~~20,000m3 未満	×	×	
	~~10,000~~20,000m3 以上	○	×	

④　路床盛土

積算条件		適用可否		備考
施工幅員	施工数量	山地治山土工に該当しない場合	山地治山土工に該当する場合	
2.5m 未満	－	○	×	
2.5m 以上　4.0m 未満	－	○※	×	※林道工事：×
4.0m 以上	~~10,000~~20,000m3 未満	×	×	
	~~10,000~~20,000m3 以上	○	×	

⑤　積込（ルーズ）

積算条件		適用可否		備考
土質	作業内容	山地治山土工に該当しない場合	山地治山土工に該当する場合	
土砂	小規模（標準）（100m3 以下又は 100m3 以上で狭隘）	○	○	
	小規模（標準以外）（50m3 以下又は障害物等の制限あり）	○	○	
土砂、岩塊・玉石及び破砕岩	土量 50,000m3 未満	×	×	
	土量 50,000m3 以上	○	×	
	平均施工幅１ｍ以上２ｍ未満	×	×	

⑥　床堀り

積算条件		適用可否		備考
土質	施工方法	山地治山土工に該当しない場合	山地治山土工に該当する場合	
土砂	小規模（1 箇所当たり 100m3 程度又は平均施工幅１ｍ未満）	○	○	
土砂及び岩塊・玉石	標準	×	×	
	平均施工幅１ｍ以上２ｍ未満	×	×	
	掘削深さ５ｍ超２０ｍ以下	○	×	
	掘削深さ２０ｍ超	○	×	
	現地制約あり	○	○	

(2)「3章　コンクリート工」の適用範囲

山腹工において、コンクリート体積（1工事当り）が100㎥未満の場合は、本方式で算出した単価に、別途、下式により算出した単価を加算できるものとする。

加算額(10m3当たり)

山林砂防工(普通作業員)単価×0.2人＋特殊作業員単価×0.1人

なお、「3章 コンクリート工」の適用できない範囲に記載されている以下の工種については、森林土木事業標準歩掛表または「本方式の基準」の別章に記載の施工パッケージを適用する。

・ダムコンクリート、治山ダム工、コンクリート舗装(路面工)、消波根固めブロック、コンクリート桁及び軽量コンクリート等の特殊コンクリート打設、並びに橋梁床板の養生工。
・場所打擁壁工
・函渠工
・橋台・橋脚工

~~(1)~~(3) 施工パッケージ単価のみ設定されている工種

次の工種は、「森林土木事業標準歩掛表」に掲載がない工種であり、作業条件等に留意し適用するものとする。

なお、ICT 技術を用いて施工を行う工種は、「森林整備保全事業 ICT 活用工事試行積算要領」によるものとする。

・吹付法面取壊し工
・プレキャストコンクリート板設置工
・平石張工
・現場打擁壁工（1）
・現場打擁壁工（2）
・プレキャスト擁壁工
・補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁）
・補強盛土工
・排水構造物工　現場打ち水路（本体）

施工パッケージ型積算方式の試行にかかる積算工種について

○施工パッケージ型積算方式を適用する工種

「森林整備保全事業数量算出要領（施工パッケージ型積算方式）の制定について（平成28年３月31日付け27林整計第358号林野庁森林整備部計画課長通知）」で林野庁が示す施工パッケージのうち、次の工種について、原則施工パッケージ型積算方式により積算を行う。

なお、次に示す工種、パッケージのほか、施工パッケージ単価が設定された工種については、この方式により積算できるものとする。

工種及びパッケージ

工 種	No.	施工パッケージ	対応歩掛	適用範囲
土工	001	掘削	小規模土工機械床掘・締固め 01-01-300 クラムシェル掘削 01-01-410 人力切崩し（切取） 01-02-210 人力掘削（片切） 01-03-250	クラムシェル掘削は水中掘削
	003	整地	捨土敷均し 01－01－~~060~~070	~~一般土工~~
	004	路体(築堤)盛土	01－01－~~040～~~050～060 盛土敷均し・締固め	01 － 01 － ~~020~~050 ～ 060
			人力盛土（埋戻し） 01-02-250	
	005	路床盛土	01－01－~~040～~~050～060 盛土敷均し・締固め	01 － 01 － ~~020~~050 ～ 060
			人力盛土（埋戻し） 01-02-250	
	008	人力積込	人力積込 01-02-240	
	015	床掘り	小規模土工機械床掘・締固め 01-01-300 クラムシェル掘削 01-01-410 人力掘削（床掘） 01-02-230	クラムシェル掘削は床掘

土工	018	舗装版破砕積込（小規模土工）	小規模土工機械床掘・締固め 01-01-300	
	020	埋戻し	小規模土工機械床掘・締固め 01-01-300 埋戻工 01-01-600 人力盛土（埋戻し） 01-02-250	埋戻工は、機械による工程を含む場合とし、山地治山土工を除く
運搬工	022 ～ 023	人力運搬（積込み～運搬～取卸し） 人力運搬（運搬～取卸し）	小車運搬 03-03-200	法勾配１：3.75（15度）以下の現場で土砂(粘性土、砂、砂質土、レキ質土及び岩塊・玉石混り土)を運搬する場合
	151 ～ 152	現場取卸費	（鋼桁、門扉、鋼管杭） 03-11-400	
	411	現場発生品・及び支給品運搬	03-11-500	
コンクリート工	157	コンクリート	人力投入打設 04-02-100 コンクリートポンプ車打設（林道事業及び治山事業（山腹工）） 04-03-100 コンクリートポンプ車圧送管組立・撤去 04-03-200 小型構造物クレーン車打設 04-04-100	第４　３（32）「３章コンクリート工」の適用範囲参照
	070 ～ 076	小型擁壁 重力式擁壁 もたれ式擁壁 逆T型擁壁 L型擁壁 ペーラインコンクリート コンクリート（場所打擁壁）		場所打擁壁工 (1),(2)

コンクリート工	159	型枠	一般型枠の製作･設置･撤去 04-09-400 合板円形型枠の製作・設置・撤去 04-09-500 均し基礎型枠の製作・設置･撤去 04-09-600	
取りこわし工	112	コンクリートはつり	人力はつり工 05-10	
	114 ～ 116	コンクリート削工（電動ハンマドリル） コンクリート削工（さく岩機） コンクリート削工（コンクリート穿孔機）	コンクリート穿孔 05-12	
	122 ～ 129	高欄撤去 アスファルト舗装版破砕・積込み 床版１次破砕･撤去 床版１次及び２次破砕･撤去 桁１次切断・撤去 桁１次及び２次切断･撤去 アスファルト塊運搬 床版運搬	旧橋撤去工 05-13	
	155	殻運搬	取りこわしコンクリート殻処理 05-14	
	028	吹付法面取壊し	吹付法面取りこわし工 05-15	

作工物	034	基礎砕石	基礎砕石工(機械施工) 06-01-100	
	035	裏込砕石	裏込砕石工(機械施工) 06-01-200	
	036 ~ 042	間知ブロック積 大型ﾌﾞﾛｯｸ積 間知ﾌﾞﾛｯｸ張 平ﾌﾞﾛｯｸ張 連節ﾌﾞﾛｯｸ張 緑化ﾌﾞﾛｯｸ積	コンクリートブロック積(張)工 06-02-100 客土投入 06-02-600	土木工事標準単価が使用できる場合及び治山事業（渓間工含む）における間知ブロックの積工の一部を除く
	045	胴込・裏込コンクリート	胴込・裏込コンクリート打設 06-02-200	
	046	胴込・裏込材(砕石)	胴込・裏込材投入 06-02-300	
	047	遮水シート張	遮水シート張工 06-02-400	
	048	吸出し防止材(全面)設置	吸出し防止材(全面)設置 06-02-500	
	050	現場打基礎コンクリート	コンクリート打設 06-02-700	
	049	植樹	植樹工 06-02-800	
	130 132	じゃかご 止杭打込	じゃかご工 06-06-200	治山事業除く
	131	ふとんかご	ふとんかご工 06-06-300	治山事業除く
	077	プレキャスト擁壁設置	Ｌ型プレキャスト擁壁設置工 06-20	
	078 080 082 084	補強土壁壁面材組立・設置 補強材取付 まき出し・敷均し、締固め	補強土壁工 06-21-100	帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁 ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ）

作工物	086 088 089	ジオテキスタイル壁面材組立・設置 ジオテキスタイル敷設 まき出し・敷均し、締固め	ジオテキスタイル工 06-21-900	
管渠工	091	ヒューム管（B形管）	遠心力管設置 07-01-100	
	098	鉄筋コンクリート台付管	鉄筋コンクリート台付管設置 07-01-300	
	~~100~~	~~ＰＣ管~~	~~コア式プレストレストコンクリート管設置~~ ~~07-01-500~~	
	096	プレキャスト集水桝	集水桝設置 07-05	「07-09-100」山腹水路工を適用する場合を除く
	092	ボックスカルバート	ボックスカルバート布設　07-06	
	153	函渠	函渠工(1) 07-07	
	154	コンクリート（場所打函渠）	函渠工(2) 07-08	
	093	暗渠排水管	硬質塩化ビニール管等設置 07-13-100	「07-09-100」山腹水路工を適用する場合を除く
	094	フィルター材	フィルター材敷設 07-13-110	「07-09-100」山腹水路工を適用する場合を除く
	102	コルゲートフリューム	コルゲートフリューム水路布設 07-11-100	「07-09-100」山腹水路工を適用する場合を除く
	101	コルゲートパイプ	コルゲートパイプ据付 07-02-100	
橋梁工	408 409	コンクリートアンカーボルト設置 排水管設置	橋梁排水管設置工 09-06	

根固工	164	消波根固ブロック製作	コンクリート工 11-04-100 型枠工 11-04-200 養生工 11-04-400	
	165 ～ 168 170	消波根固ブロック横取り、消波根固ブロック積込み、消波根固ブロック荷卸、消波根固ブロック据付け、消波根固ブロック撤去	横取り・積込・荷卸・据付歩掛 11-05-100	
	169	消波根固ブロック運搬	トラック等の運搬施工歩掛 11-06-100	
路盤工	234 ～ 238	不陸整正 下層路盤（車道・路肩部、歩道部） 上層路盤（車道・路肩部、歩道部）	舗装前提の路盤工 12-02-100 凍上抑制層（砂・火山灰） 12-02-200	上層路盤（車道・路肩部）は材料が粒度調整砕石の場合

舗装工	237 242 ～ 247	上層路盤（車道・路肩部） 基層（車道・路肩部、歩道部） 中間層（車道・路肩部、歩道部） 表層（車道・路肩部、歩道部）	アスファルト舗装工（機械舗設） 13-04 アスファルト舗装工（人力舗設） 13-06	機械舗装は平均幅員1.4m以上の場合 人力舗装は平均幅員1.4m未満の場合
	306	舗装版破砕	舗装版破砕工 13-16	
	307	舗装版切断	舗装版切断工 13-14	
	248	アスカーブ	アスファルト縁石工 13-17	
地すべり	230 ～ 233	ボーリング 保孔管 ボーリング仮設機材 足場（地表）	ボーリング工（ロータリーパーカッション式） 16－04	
	106 ～ 110	削工（アンカー） アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理（アンカー） グラウト注入（アンカー） ボーリングマシン移設（アンカー） 足場（アンカー）	アンカー工（ロータリーパーカッション式） 16-06	
保安林整備	263 266	防雪柵 雪崩予防柵	雪崩予防柵工 17-06	

（注）適用に当たり、施工パッケージの適用範囲に留意すること。